

令和2年度 第2回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園

園長 吉田 典穂

○評価日 令和3年2月19日(金) 10:45~11:30

○場所 認定こども園かいけ心正こども園 会議室

○出席委員

学校関係者評価委員	所属
A委員	小学校 校長
B委員	公民館 館長
C委員	主任児童委員
D委員	連携保育園 園長
E委員	保護者会 会長

○園からの説明・・・別紙参照① 令和2年度 自己評価公表シート

別紙参照② 令和2年度 学校評価保護者アンケート

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

【C委員】

- ・「自己評価公表シート」の評価項目1(園の教育方針・内容)が前年度より低くなっているのはなぜか?新型コロナの対応等でぶれてきたということか?
- ⇒実際に、月に一回の月案会(指導計画)の中で、子どもの姿をイメージしたり各学年の保育活動に対して情報共有をしたりしているが、全職員への周知が徹底できていない。また、職員の急な休みにより職員不足で、通常の会議自体ができなかったり、新型コロナ対応により目の前の活動や行事をこなしたりで、日々の保育に追われることが多かった一年であった。また、園長自らが、理念について語る機会が減ったことも要因になっていると感じる。

【A委員】

- ・小学校でも、今年一年どうしようかと悩みながらの一年であった。新型コロナ感染防止といっても、園児を抱っこしないといけないので、こども園ではとても大変だったと思う。
- ・今年度は、今までやっていた活動や行事の内容等を見直す機会になって、プラスに捉えて行っている。
- ・小学校は、先日参観日を行い、たくさんの方に来ていただいた。参観時間を分けて、来校する保護者の方も指定して、20分限定の参観日を行った。やはり実際の子どもの姿を見てもらいたいと思い開催した。まだまだこのような状況が続くが、保護者にどのように子どもの姿を伝えていくかはとても大切なことである。
- ・今年度は、小学校交流はできなかったが、災害時の避難先としての「協定書」を締結させて

もらったので、実際に避難訓練等小学校まで歩いてもらったりしているので、引き続き連携や情報共有をしたい。

【E 委員】

- 「WITH コロナ」ということで、今後もうまく付き合っていかななくてはならない。前半では、行事等の中止があつて、保護者としてもとても不安があつたが、少しずつ感染予防をしながらの参観日や行事等を行ってもらつたので良かった。

【D 委員】

- 小規模園でも、今年度は消毒時間があり、今まで以上に仕事量が増え、職員の負担が大きい。また、会議をする時間もなかなか持てず、主任が伝えるなどやり方を見直している状態である。子どもたちを守るためには、必要は業務ばかりなので、大変さがよく理解できる。
- 「人権擁護チェックシート」を職員に実行した。保護者や子どもたちに対する対応の仕方など、職員が自分を振り返る機会になり、とても良かった。

【B 委員】

- コロナ禍で、色々な形で工夫していることは、子どもたちの指導にもつながっているので、今後もしっかり活かして行ってほしい。

⇒園からの回答

上記のようなたくさんのご意見を頂きましたので、本年度の園運営や保育に生かしていきたいと考えております。

以上